



子どもたちにワクワクを！ 地域みんなを笑顔にする “まちごと子育て”



市民主体の取組が活発な茨木ですが、それは子育てサポートにもいえること。
がんばる親子をあたたく支えるたくさんの団体や人たちの一例を紹介します。

問合せ先 子育て支援課 ☎620-1633



「まちのみんなで」が
子育て支援の合言葉！

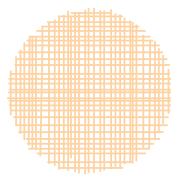
子どもたちが元気だと、まちは
明るくなるもの。小さな子どもが
いる家庭に限らず、子育てがひと
段落した人たちやさまざまなライ
フスタイルの人たち、学生や高齢者
など、幅広い世代が子どもたちと
ふれあえる地域は、いきいきと輝
いています。

茨木は、子育てを支える活動が
盛んなまち。市が力を入れている
のはもちろん、さまざまなグルー
プやボランティアたちが積極的に
動き、場をつくりながらまち全体
で子育て支援に取り組んでいます。

今年11月にオープン予定の複合
施設「おにクル」でも、子育て支援の
サポートがパワーアップして提供さ
れる予定。子どもたちと楽しめる
居場所もいっそう増えることにな
ります。地域一体となってやさしく
見守っている、まちぐるみでの育
て。親子はもちろん、見守るみんな
も笑顔になれる場は、参加したい！
という人たちをいつでも歓迎して
くれます。



歌やピアノ演奏に加え、ダンスや手遊び、絵本の読み聞かせ、一緒に簡単な楽器を鳴らすなど、盛りだくさんの内容でみんなが笑顔に!



自分たちが楽しむ音楽で 子どもも大人も笑顔に!

ohana(オハナ)



ohanaの
詳細はこちら

約5年前、茨木に住む3人の子育てママが結成した音楽グループ、ohana。子ども向けの音楽をメインに、老若男女が楽しめるファミリーコンサートを随時開催しています。「子どもたちに楽しんでもらえたらと始めた活動ですが、涙を流して感動してくれる親御さんもいてうれしい」という國澤さんに続き、「コロナ禍で生まれたお子さんに、初めて生の音楽を聴かせられたというお声もあり、大きなやりがい」と阪脇さん。正木さんも、「子連れだからコンサートは気が引けるという親御さん自身が癒されるコンサートをもっと開いていきたい」と語ります。根底にあるのは、自分たちが音楽を楽しみたいという思い。その喜びが、笑顔の連鎖につながっているのでしょう。



子育てで自分のことを後回しにしがちな親も一緒に楽しめ、元気になると好評



IBALAB@広場がオープンしてからは、野外コンサートも頻繁に行っている。散歩がてら立ち寄る人も多いのだとか



ママやパパにとっての癒しの時間にもしてほしい!

小さなお子さん連れでも気兼ねなく、親御さん自身に楽しんでいただけるようなコンサートをお届けすることが目標です。危なくないように見守っていただければ、お子さんが騒いでも走り回っても大丈夫です。ぜひ遊びに来てくださいね!



ohana(写真右から)
國澤さやかさん(ボーカル)
阪脇乃理子さん(ボーカル)
正木敬代さん(ピアノ)





悩みを解決して 親子そろっての成長を

アンファン広場

アンファン広場は、17年前に活動を始めた育児サークルです。アル・プラザ茨木やイオンモール茨木などで月4回ほど、子育てをがんばる親のニーズに合った遊び、スキルアップの機会を提供。親子で楽しめるイベントは周囲とつながるきっかけに。参加者の話を聞き、茨木の子育て情報や相談機関の紹介なども行っています。代表の田中さんは元教師。自身の子どもが不登校になりそうと感じて退職したところ、家庭で子どもと向き合い続けることがいかに大変かを痛感したと振り返ります。「仲間ができてストレスを発散できる場があればと思っていました。一息ついて、子育ての楽しさを感じたり、子どもと向き合い親としての成長につながったりしてくれたいと思います」。



アンファン広場の
詳細はこちら

どこへ相談に行っていかが わからない方の窓口にも!

1人で子育てしていると、周囲とのつながり方もわからなくなってしまうもの。買い物ついでに立ち寄って、心配ごとや誰にも言えなかったお悩み、ささいなことなど、気軽に話してくださいね。リピーターでも楽しめるよう、毎回違うテーマで開催しています!



アンファン広場
田中康子さん



アル・プラザ茨木では子育て情報を紹介。各地域で行われているサポートを知るきっかけを提供している



ワークショップや季節の行事、コンサートなど、毎回違うテーマで開催し、子どもの主体性を育てることも重視

ほかにもこんな活動が!

つどいの広場

子育てや育児について
なんでも語り合える場!

乳幼児をもつ子育て中の保護者が気軽に集える場所です。うちとけた雰囲気なのも、子育てや育児についてじっくり語り合えます。市内20カ所で開催されていて、気ままに訪ねられます(事前予約制のところもあり)。なかにはイベントや、就学前児童の一時預かり保育を実施しているところも。



詳しくはこちら



どの広場も玩具やおもちゃ
がたくさん
(さんさんひろば)



子どもを遊ばせながら情報交換も



赤ちゃんと一緒に集える「赤ちゃんサロン」。
身体計測や、記念の足型を取ることも

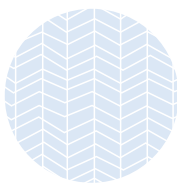
昨年11月には元世界チャンピオンを招いた
ストライダーの体験イベントも実施



未就園児の親子に 安全な遊び場を提供したい

地域子育て支援センター ほわわ

「ほわわ」は未就園児とその保護者をサポートする、地域子育て支援センター（市内5カ所）の一つ。認定こども園「たんぼば学園」に併設される形で、20年前に開設されました。平日には同園の園庭と、支援センターの部屋（感染予防のため予約制）を開放。遊び場の提供に加え、育児の悩み相談にも対応しています。「親子で楽しめる企画を近くの公園で行う『にここ広場』は予約不要で、『ほわわ』を知っていただくきっかけにも」と、保育教諭の平野さん。コロナ禍になってからは在宅の支援も強化。ベビーマッサージなどもオンラインで催し、自宅からでも参加できるように。子どもの成長につながる多彩なイベントも無料で開催。親子で友だちの輪を広げられる機会にもなっています。



地域子育て
支援センターの
詳細はこちら

「ほわわのBabyマッサージ」参加者募集
2月15日（水）10時～11時、
オンラインで開催！
受付は2月12日（日）まで
詳細はホームページ参照。



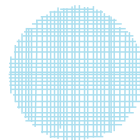
申し込みは
こちら

子育ての悩みを共有できる場、 くつろぎの場としても活用を

今の未就園児はコロナ禍生まれ。思うようにコミュニケーションもとれず、不安を抱えておられる方も少なくないでしょう。悩みを共有できる友だちもできますので、ぜひくつろぎに来てください。電話やメールでのご相談も歓迎です！



たんぼば学園
地域子育て支援センター
ほわわ 平野純子さん



近くの公園で紙芝居や絵本のよみきかせ、親子ダンスなどを行う「にここ広場」（写真は岩倉公園）

ファミリー・ サポート・センター

互いに助け合いながら
仕事と家庭の両立を応援！

育児のサポートを受けたい生後3か月から小学6年生までの子どもの保護者と、サポートをしたい人、どちらもしたい人による有償ボランティア（昨年未時点471人）の会員組織。習い事や産前産後の幼稚園保育所への送迎、小学校の開始前や放課後等の預かりなど、「誰かの手を借りたい」というときなどに、可能な会員が対応してくれます。

※説明・登録会は39ページ参照



仕事のある親に代わって保育所へ送迎



詳しくはこちら

さらに子育てしやすいまちへ！
「おにクル」でパワーアップ

neuvola ネウボラ^{プラス}+

(こども支援センター)



おにクル1階には屋内こども広場、2階(イメージ図)にはこども支援センターや絵本を楽しむ場などが

11月開館予定の新施設「おにクル」に設けられる「こども支援センター」では、「妊娠・出産・子育て」に関する相談窓口をワンストップで提供。施設内の各機能と連携した「ネウボラ+」として展開していきます。

ここが+
1
遊びに来た
ついでに悩みを
相談できる

ここが+
2
妊娠・出産・子育て
ワンストップで
支援！

ここが+
3
「おにクル」内の
機能と連携して
バックアップ！

楽しく集える場所で妊娠・出産・子育てまで
切れ目のないサポートを！



フィンランド語で「アドバイスを受ける場所」を意味する「ネウボラ」。子どもとその家族を支援する北欧の公的施設のこと、妊娠から子どもの就学まで、母子の病気の予防と心身の健康促進を目的としています。茨木でもこのスタイルを参考に、切れ目のない支援を強化。情報連携しているものの受付窓口が違うという課題を、おにクル誕生を機に解決。「こども健康センター」と「子育て支援総合センター」が同じ場所となり、母子健康手帳の交付や

乳幼児健診、子育て相談、一時預かり保育など「こども支援センター」で切れ目のないサポートを行います。また、図書館や市民活動センターも入るおにクルだからこそ、各機能と連携し、プラスアルファのサービスを展開していきます。

親子で気軽に
来てください！



こども健康センター
神田真由美



子育て支援の
詳細はこちら

子育てに関するこんな
サポートサービスが！

□ 屋内こども広場



雨の日でも利用できる広場がおにクルの1階にオープン。木の香りに包まれた“まちなかの森”のような空間で、創る・触れる・感じるなど、さまざまな体験から子どもの豊かな感性を育みます。

□ 一時預かり保育



保護者の病気や冠婚葬祭などで、自宅での保育が一時的に難しくなった子どもを預かるサポートを、おにクル内でも実施。美容室へ行ったり一息入れたりしたいときにも利用可能です。

□ 産前・産後ホームヘルパー派遣



産前・産後の体調不良などで家事や育児に困っている人のもとへ、訪問介護事業所からホームヘルパーを派遣。日中に家族などからの援助が受けられない家庭を対象としたサービスです。

参加者募集

～「おにクル」開館プレ事業～

「おにクル」は、施設に入るさまざまな機能を掛け合わせながら人や活動を育み、新たな場を生み出すことをめざしています。昨年からは、開館に向けて、「つむぐ。おる。」をコンセプトにしたプレ事業を開催。子育て世代にぴったりのイベントもあるのでぜひご参加ください。

避難訓練ファミリーコンサート ～文化×子育て×防災～



親子で楽しめる演奏会とホールから外への避難訓練を行います。詳細や申し込みは市ホームページを。

- 開催日:2月26日(日)
 - 場 所:ローズWAMワムホール
 - 定 員:先着20組
- ※2月1日(水)から受付



開館プレ事業のコンセプト「つむぐ。おる。」は、おにクルに関わる人や活動などを「糸」に、糸同士の掛け合わせ、連携により生み出されるものを「テキスタイル(織物)」に例えて表現したもの。開館後に実施されそうなおにクルらしい企画を展開している。

子育て×市民活動センターコラボイベント

おにクルでも行われそうな子育て関係の楽しいイベントを3月に実施予定。ご期待ください!

今後もさまざまなプレ事業や参加型の寄附プロジェクトを予定。ぜひチェックを!



□読んで作って絵本クッキング



プレ事業



寄附



子育て食育実行委員会
ういせい
氏家直子さん

絵本を読み聞かせ、出てくるお菓子を実際につくって試食しました。調理後に再び読み聞かせたところ、より興味津々で聞いてくれ、絵本と食育の相乗効果を実感しました。おにクルでも食の楽しさや大切さを伝えていきたいです。



□子どもBOOKCLE

これまでの子育て応援開館プレ事業



子育て支援総合センター
柿本真也

読まなくなった絵本を譲り、読みたい絵本をもらう交換会を庄栄図書館で行いました。期間中は子育て相談会も実施。気軽に相談できると大変好評で、図書館と子育て機能が一つの建物に入るおにクルへの期待感の高まりを感じました。

「おにクル」でさらに楽しく!子どもがワクワクできるプラネタリウムや図書館に



市内の各図書館では、ボランティアが絵本などの読み聞かせを行う「おはなし会」を随時開催しています。また、合同庁舎にある天文観望室プラネタリウムでは、「幼児のためのプラネタリウム」も実施中。これらの子ども向けイベントは、おにクルに入る図書館やプラネタリウムにもパワーアップして引き継がれる予定です。